

かる27

クラシックギター

ロビー・コンサート

◆とき

5月16日(火)

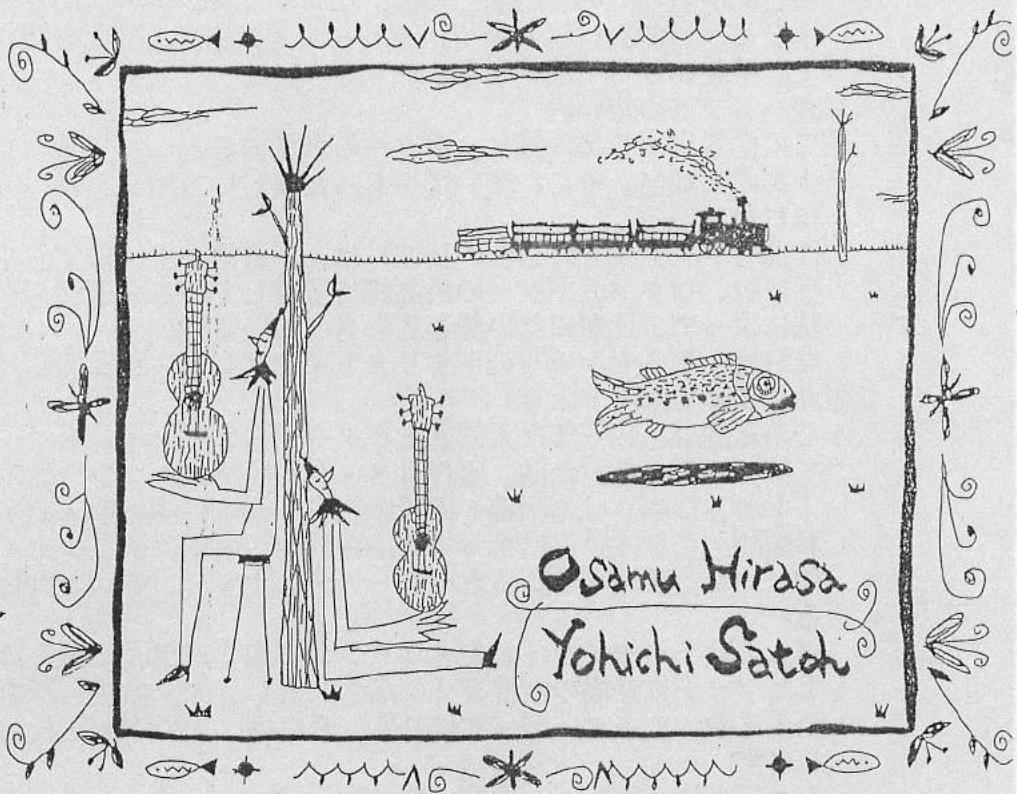
12:15~
12:45

◆ところ

かる27

展示ホール

◆出 演



曲 目

- ◆ ロマンス (禁じられた遊びのテーマ)
- ◆ アルハンブラの想い出
- ◆ 組曲 [大きな木]
 - 二人は仲良し
 - リンゴのポルカ
 - 時間のワルツ
 - 海
- ◆ 汽車に乗って

お昼のひとときギターの奏でるすばらしい調べをお楽しみください

◆ 主 催 財団法人道民活動振興センター

演奏曲目について

平佐 修

ロマンススペイン民謡

N・イエペスのギターソロで全編を構成した映画「禁じられた遊び」のテーマ曲で、日本において最も親しまれているギター曲。

今日は、この映画のなかに使われている、フランスのリューティストR・de・ヴィセー(1650-1725)の「組曲二短調」からサラバンテと、同じくフランスの作曲家J・P・ラモー(1683-1764)の「メヌエット(フランス農民舞曲)二短調」を中間に挿入して、平佐のソロで演奏します。

アルハンブラの想い出F・タルレガ

この曲もロマンス同様に、ギターの名曲のひとつ。アルハンブラはスペイン南部グラナダの一地名。そこに赤い塔をもった美しい古城があり、「アルハンブラ宮殿」と呼ばれている。

作曲者F・タルレガ(1852-1902)は、「近代ギターの父」「ギターのショパン」とも呼ばれ、ロマン派ギターの最高峰に位置している。近代ギターが確立したトレモロ奏法によって、比類のない美しさをもっている曲。

今日は、アルゼンチンのギタリスト・サグレラスが編曲したデュオ版で演奏します。

組曲「おおきな木」より平佐 修

この組曲は、1992年に人形劇とギターデュオ+ティンホイッスル(アイルランドの立て笛)の為に作った曲。原作はS・シルヴァスティンの絵本「The Giving Tree」で「おおきな木」は本田錦一郎氏の訳名。脚本は演出家・鈴木喜三夫氏、人形劇は「人形劇団・えりっこ」によって初演された。演奏はティンホイッスルの扇柳徹氏(HARD TO FIND)と私達「あこるとギター・デュオ」で、6回の再演のほか演奏だけもしている。

主人公はあくまでも「おおきなリンゴの木」だが、鈴木氏は少年の名前を「たろう」エピソードに登場の女性を「はなこ」とし、作品に親しみを持たせた。

全14曲中、ギターデュオは9曲。今日は、その中から6曲を新しいアレンジで演奏します。

1 二人は仲良し～一人ぼっちの木

仲良しの二人は、おおきな木とたろう。挿入したワルツは、たろうの遊びにこない時の「たいていひとりぼっち」な木の淋しい気持ち。

2 時間のワルツ

時間は淡々として過ぎ、誰にも止めたり取り戻したりすることはできない。

3 リンゴがいっぱい～たろう と はなこ

ある日、たろうがひょっこりきて、木に「かいものが してみたいから」とお金をせがむ。「それじゃ」と、木はたろうにひとつ残らずリンゴを与える「まちで うったら…たのしくやれるよ」と言う。たろうの嬉しさと、はなことの楽しい時間。

4 海

年をとり生活に疲れたたろうが、何度も無心にくる。実も枝もなくしてしまった木は、とうとう幹を与えて切り株になってしまう。「木は、それで嬉しかった」し、たろうは船をつくり海に出て行く。おだやかな海と荒れ狂う海。中間のゆったりした部分は、たろうの身を案ずる木の気持ち。

汽車に乗って平佐 修

1991年「第10回、ギター室内楽シリーズ」の、鈴木喜三夫氏脚本による「朗読と歌とギターによる構成詩」中の挿入曲。

体育の指導中、事故で不自由な体になった教師・星野富弘氏著「愛、深き渦より」にある、口にくわえた筆で書いた便りを友人に出せる喜びを「まるで自分が汽車に乗って行くようだ」と表現したのに感動して作った曲。

私達の1st. CDのタイトルにもなっている。